

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン、創造性と未来を拓くデザイン、
そして子どもたちを産み育てやすいデザインを顕彰する制度

「第4回キッズデザイン賞」

2010年4月1日、応募受付を開始。

今回から「少子化対策担当大臣賞」を新設！

キッズデザイン協議会

平素より、キッズデザインの推進に関しましてご指導、ご協力いただきましてありがとうございます。

私どもキッズデザイン協議会(内閣府認証NPO、本部:東京都文京区、会長:和田勇)が主催する第4回キッズデザイン賞は、2010年4月1日10:00からウェブサイト(www.kidsdesignaward.jp)上に応募フォームを公開、応募受付を開始いたします(応募締切は5月10日(月)23:59まで)。実施概要につきましては別紙の通りです。

第4回となる本年のキッズデザイン賞では、官民挙げて子育て支援、少子化対策の機運が高まっていることを受け、賞体系を見直し、新たに「少子化対策担当大臣賞」を設定いたしました。

また、昨年に引き続き一般生活者の方々から身の回りの子ども目線に優れた製品やサービスを、キッズデザイン賞に推薦いただく仕掛けとして、「あなたのおすすめ!キッズデザイン」をウェブサイトと同時に展開し、生活者目線でのキッズデザインの推進へとつなげていきます。

キッズデザイン賞は「子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン」「創造性と未来を拓くデザイン」そして「子どもたちを産み育てやすいデザイン」というキッズデザインの理念を実現し、普及するための顕彰制度です。乳幼児用品や玩具などの子ども向け製品・サービスに限らず、大人向けのものでも、子どもに対する配慮がなされた良質な商品や施設、プログラム、調査研究活動などを幅広く募集します。受賞作品には、「キッズデザインマーク」の使用が認められます。



本年1月29日に閣議決定された少子化対策の政府方針「子ども・子育てビジョン」でもキッズデザインの普及が盛り込まれるなど、ますます注目を集めるキッズデザイン賞。今後とも引き続きご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。

<キッズデザイン 3つの基本理念>

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン

子どもの身体特性や行動特性、不測の状況が子どもにもたらす影響などに配慮し、技術や素材においてもその応用・活用が優れているデザイン

子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン

子どもの創造力を喚起・進化させる仕掛けや、身体的・精神的発育に対して新たな提案、子どものコミュニケーション能力、表現能力を高める工夫が施されているデザイン

子どもたちを産み育てやすいデザイン

子どもの安全を確保し、かつ親(大人)の身体的・精神的負担の軽減や、出産、育児を安心して、楽しく行うための配慮がなされているデザイン

『第4回キッズデザイン賞』実施概要

WEB サイト: <http://www.kidsdesignaward.jp/>

【応募期間】 2010年4月1日(木) 10:00 ~ 5月10日(月) 23:59

【主催】 特定非営利活動法人 キッズデザイン協議会

【後援】 経済産業省

【応募部門】

応募者は、キッズデザイン3つの理念から設けられた以下にあげる6つの中から応募部門を選択します。

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン

子ども視点による安全・安心に寄与する製品、施設、サービス、研究などを対象に選定。

キッズセーフティ部門 (子ども(概ね0~10歳程度)を対象にしたもの)

ユニバーサルセーフティ部門 (大人を含む一般生活者全般を対象にしたもの)

子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン

子どもの健全な育成、五感や感性の発達に寄与する製品、施設、サービス、研究などを対象に選定。

フューチャーアクション部門 (サービス、ワークショップ、CSR、研究など活動、ソフトを中心としたもの)

フューチャープロダクツ部門 (製品、施設などのハードを中心としたもの)

子どもたちを産み育てやすいデザイン

妊婦やその周辺の人、乳幼児や子育て支援に寄与する製品、施設、サービス、研究などを対象に選定。

ソーシャルキッズサポート部門 (サービス、ワークショップ、CSR、研究など活動、ソフトを中心としたもの)

ソーシャルキッズプロダクツ部門 (製品、施設などのハードを中心としたもの)

その上で、応募の対象作品の分野を次の4つの中から選択します。

商品デザイン分野

: 家電、おもちゃ、本、ファッション、アパレル、化粧品、靴、インテリア、寝具、キッチン、日用品、雑貨、文具、伝統工芸品、菓子、飲料、食品、スポーツ、乗り物、福祉機器、ソフト、その他あらゆる工業製品のデザイン。キッズデザインの考え方に資するシステム、機器などを含む。

建築・空間デザイン分野

: 住宅、施設、公園、景観、土木、造園、緑化、その他あらゆる空間・ランドスケープ・修景のデザイン。

コミュニケーションデザイン分野

: イベント、ワークショップ、セールスプロモーション、パブリックリレーションなどのコミュニケーション活動のデザイン、また、企業、NPO、自治体等の団体が進める公共性の高い社会貢献活動、地域での取り組み・サービス・行事、ウェブその他の媒体等を活用したコミュニケーション活動など。

リサーチ分野

： 児童研究・科学技術開発などの調査・研究活動。知的財産、ビジネスモデルなどを含む。

リサーチ分野の受賞作品は原則としてそのデータを含めた成果を公開し、社会が共有することでキッズデザインの普及に役立てることを意図しています。そのために、リサーチ分野の審査料は応募者を問わず無料としています

【賞の構成】

本年度は前年度までと異なり、6つの部門それぞれで最も優れたものに最優秀賞として大臣賞が授与されます。具体的には、「キッズセーフティ賞」、「ユニバーサルセーフティ賞」、「フューチャーアクション賞」および「フューチャープロダクツ賞」には経済産業大臣賞が、また、「ソーシャルキッズサポート賞」および「ソーシャルキッズプロダクツ賞」には少子化対策担当大臣賞が授与されます。

子どもたちの安全・安心に貢献するデザイン 一般向けも含めた子ども視点による安全・安心に関する製品、施設、サービス、研究などを対象に選定。		子どもたちの創造性と未来を拓くデザイン 子どもの健全な育成、五感や感性の発達に寄与する製品、施設、サービス、研究などを対象に選定。		子どもたちを産み育てやすいデザイン 妊婦やその周辺の人、乳幼児や子育て支援に寄与する製品、施設、サービス、研究などを対象に選定。	
キッズセーフティ部門 子ども(概ね0～10歳程度)を対象にしたもの	ユニバーサルセーフティ部門 大人を含む一般生活者全般を対象にしたもの	フューチャーアクション部門 サービス、WS・CSR・研究など活動、ソフトを中心としたもの	フューチャープロダクツ部門 製品・施設などのハードを中心としたもの	ソーシャルキッズサポート部門 サービス・WS・CSR、研究など活動、ソフトを中心としたもの (産み育て支援プログラム)	ソーシャルキッズプロダクツ部門 製品・施設などのハードを中心としたもの (産み育て支援プロダクツ)
キッズセーフティ賞 【経済産業大臣賞】	ユニバーサルセーフティ賞 【経済産業大臣賞】	フューチャーアクション賞 【経済産業大臣賞】	フューチャープロダクツ賞 【経済産業大臣賞】	ソーシャルキッズサポート賞 【少子化対策担当大臣賞】	ソーシャルキッズプロダクツ賞 【少子化対策担当大臣賞】
優秀賞 【キッズデザイン協議会会長賞】	優秀賞 【キッズデザイン協議会会長賞】	優秀賞 【キッズデザイン協議会会長賞】	優秀賞 【キッズデザイン協議会会長賞】	優秀賞 【キッズデザイン協議会会長賞】	優秀賞 【キッズデザイン協議会会長賞】
審査委員長特別賞		審査委員長特別賞		審査委員長特別賞	
キッズデザイン賞 (第二次審査通過作品)					

【応募費用】

第一次審査費用：無料

第二次審査費用：52,500円(税込)

- ・ 第一次審査を通過した作品のみ、第二次審査(現物審査)にかかる費用として52,500円が必要になります。
- ・ 第二次審査を通過した作品にはキッズデザイン賞が付与されます。
- ・ 自治体、ならびに、国公立の機関(学校、病院、博物館など)が応募者となる場合は部門を問わず審査料は無料です。
- ・ リサーチ分野における審査料は、応募者を問わず無料とします。ただし、データシートの添付と、受賞後の公開が原則となります。

最終審査費用：第二次審査費用に含まれます

【応募先】

webサイトからの応募を原則とします。

応募受付サイト <http://www.kidsdesignaward.jp>

【スケジュール】

- ・ 応募受付開始 2010年4月1日(木)
- ・ 応募受付締切 2010年5月10日(月)
- ・ 第一次審査(書類審査) 2010年5月11日(金)～5月25日(火)
- ・ 第一次審査結果通知 2010年5月26日(水)
- ・ 第二次審査用現物指定場所搬入締切 6月上旬
- ・ 第二次審査(現物審査) 2010年6月中旬～下旬
- ・ 第二次審査結果通知(キッズデザイン賞告知) 2010年7月12日(月)
- ・ 最終審査会 2010年7月
- ・ 最優秀賞等発表 2010年8月上旬予定

【審査委員】

審査委員長: 赤池 学 (科学技術ジャーナリスト ユニバーサルデザイン総合研究所所長)
副審査委員長: 持丸 正明 (産業技術総合研究所デジタルヒューマン研究センター副センター長)
山中 龍宏 (小児科医 緑園こどもクリニック院長)

審査委員: 赤松 幹之 (産業技術総合研究所人間福祉医工学研究部門長)
大月 ヒロ子 (ミュージアム・エデュケーションプランナー アイデア代表)
紺野 登 (デザインコンサルタント 多摩大学院教授)
佐藤 卓 (グラフィックデザイナー 佐藤卓デザイン事務所代表)
竹村 真一 (文化人類学者 京都造形芸術大学教授)
西田 佳史 (産業技術総合研究所デジタルヒューマン研究センター)
ひびの こづえ (コスチュームアーティスト)
益田 文和 (東京造形大学教授 オープンハウス代表取締役)
水戸岡 鋭治 (インダストリアルデザイナー ドーンデザイン研究所代表)
宮城 俊作 (ランドスケープアーキテクト 奈良女子大学教授)
山中 俊治 (慶應義塾大学教授 リーディング・エッジ・デザイン代表)

【生活者推薦「あなたのおすすめ！キッズデザイン」】

一般の生活者の方から、キッズデザインな製品やサービスを募集し、企業等に応募を促す生活者推薦「あなたのおすすめ！キッズデザイン」を実施します。<http://www.kidsdesignaward.jp>のTOPページより、どなたでも推薦対象の投稿ができます。

【第4回キッズデザイン賞応募受付事務局】

第4回キッズデザイン賞応募事務局

TEL 03-3549-0091(平日 10:00～17:00) FAX 03-3549-0083

お問い合わせ専用メールアドレス 2010kids@kidsdesign.jp

本件の内容に関するお問い合わせ

キッズデザイン協議会: 福島、服部、上田

TEL: 03-5840-2434 FAX: 03-3570-9536 E-Mail: info@kidsdesign.jp